

## 採点基準 英語

### 【1】-Q1. (8点満点)

〈問題部分〉

Regarding the underlined part (1), explain in Japanese what the purpose of the study was.  
(下線部(1)について、その研究の目的は何であったか、日本語で説明しなさい)

〈解答例1〉

アメリカの地形的特徴がどのようにアメリカ人の心理的 [性格] 特性と関連しているのかを調べること。

〈解答例2〉

アメリカ合衆国の物理的特性がアメリカ人の性格特性に与える影響の解明。

### 【下線部(1)を含む文】

The mountainousness of where Americans live could be a good predictor of their personality, according to (1) a study. 「(1)ある研究によると、アメリカ人が住む場所の山の多さが、彼らの人柄を予測するためのよい指標になるかもしれない」

### 【解答の根拠】

the scientists wanted to investigate how the physical features of the United States related to the psychological traits of Americans. 「科学者たちはアメリカの地形的特徴がどのようにアメリカ人の心理的特性と関連しているのかを調査したいと考えた」

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

該当箇所	配点	備考
① investigate how related ② to ③ (②と③がどのように関連 [関係] するかを調査する)	2点	・「有無 (を調べる)」としたものは <b>-2点</b> 。
② the physical features of the United States (アメリカ [合衆国] の地形的特徴)	3点	・ physical features の欠如・誤りは <b>-3点</b> 。 やや難がある場合は <b>-1点</b> 。 ・ United States の欠如は <b>-1点</b> 。
③ the psychological traits of Americans (アメリカ人の心理的特性)	3点	・ psychological traits の欠如・誤りは <b>-3点</b> 。 やや難がある場合は <b>-1点</b> 。 ・ Americans の欠如は <b>-1点</b> 。

※趣旨が大きく違うものは必須項目が含まれていてもその区分は0点。  
※同等のことを言っていれば表現は広く認める。  
※必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜**-2点**。  
※その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜**-2点**。

【1】-Q2. (9点満点)

〈問題部分〉

Regarding the underlined part (2), explain specifically in Japanese how "lower agreeableness" appears in the traits of mountain dwellers.

(下線部(2)について、『協調性の低さ』は山岳地帯の住人の特質として、どのように現れるか、日本語で具体的に説明しなさい)

〈解答例1〉

自己中心的な生存戦略に好都合となる、人を容易に信じず、寛大さに欠けるという特質として現れる。

〈解答例2〉

他地域の人たちと比べて、他人を信頼しない非寛容な性質となって現れ、それは自己中心的な生き方の役に立つ。

【下線部(2)を含む文】

The researchers' analysis revealed that (2)people living in mountainous areas of the United States tended to be lower in agreeableness, extraversion, neuroticism and conscientiousness but higher in openness to experience when compared to a set of controls. 「研究者の分析により明らかになったのは、(2)アメリカの山岳地帯に住む人々は、調査の対照群と比較すると、協調性、外向性、神経症的傾向そして誠実性においては点数が低いが、経験に対する開放性では高い傾向にあるということだった」

【解答の根拠】

The researchers say that lower agreeableness indicates that mountain dwellers are less trusting and forgiving — traits that could be beneficial for "self-focused survival strategies." 「協調性の低さは、山岳地帯の住人があまり人を信頼せず、寛大ではないことを示すものであり、それは『自己中心的な生存戦略』にとって有益となりえる特質だと研究者は述べている」

●次の①、②の項目に相当する内容に得点を配分。

必須項目	配点	備考
① (are) less trusting and forgiving (あまり人を信頼せず、寛大ではない)	3点 ×2	<ul style="list-style-type: none"> <li>•less trusting の誤りは-3点。 (○)「(人)信じない、当てにしない、頼らない」など可。 (×)「信頼性が低い、信じてもらえない」などは不可。</li> <li>•less forgiving の誤りは-3点。 (○)「許さない、許容力がない、非寛容、人に厳しい」など可。 (×)「(人)ものをあげない[渡さない]」などは不可。</li> </ul>
② (traits that could be) beneficial for self-focused survival strategies (自己中心的 [自己本位] な生存 [生き残り] 戦略にとって有益 (になりえる特質 [傾向] ))	3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「(①は) 自分中心の生き方に役立つ」という趣旨が言えていれば表現は広く認める。趣旨の誤りは-3点。単語レベルでやや難がある場合は-2点。「サバイバル」は-2点。</li> </ul>
<p>※趣旨が大きく違うものは必須項目が含まれていてもその区分は0点。                  ※同等のことを言っていれば表現は広く認める。                  ※必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。                  ※その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜-2点。</p>		

【1】-Q3. (9点満点)

〈問題部分〉

Regarding the historical perspective of the underlined part (3), what kind of people was the mountainous environment attractive or favorable to? Based on Götz's statements, list the three types of people in Japanese. (下線部(3)の歴史的観点について、山岳地帯の環境はどのような人々にとって魅力的または好都合だったか。ゲッツ氏の発言に基づいて、日本語で3つのタイプの人々を挙げなさい)

〈解答例〉

自由の感覚に突き動かされ、社会規範に従わない人々。自分の資産を固守し、よそ者を信じない人々。食料や土地の確保のために危険な探検をする人々。

【下線部(3)を含む文】

Lastly, the team found that mountain dwellers tended to be particularly high in openness to experience. According to the researchers, this particular set of personality traits could be linked to (3)the history of human migration in the country. 「最後に、研究チームは、山岳地帯に住む人々はとりわけ経験に対する開放性が高い傾向があることを発見した。研究者らによると、こうした特定の性格特性は(3)アメリカにおける人の移住の歴史に関係があるのかもしれない」

【解答の根拠】

1. “The harsh and remote environment of mountainous frontier regions historically attracted non-conformist settlers strongly motivated by a sense of freedom.” 「山岳の辺境地帯という過酷で人里離れた環境は、歴史的に、自由の感覚によって強く動機づけられた、体制に従わない植民者を引きつけた」
2. Such rugged terrain likely favored those who closely guarded their resources and distrusted strangers, as well as those who engaged in risky explorations to secure food and territory. 「そのような起伏の多い地形は、おそらく、食料や縄張りを確保するために危険な探検に従事する人々だけでなく、自分の資産をしっかりと守り、よそ者を信用しない人々にとっても都合がよかったのであろう」

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。3つを簡条書きでもよい。

該当箇所	配点	備考
① non-conformist settlers strongly motivated by a sense of freedom (自由の感覚によって強く動機づけられた、体制に従わない植民者) (○) 「自由を求めて体制に従わない人」 (○) 「自由にするのが好きで、順応性がない人」	3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ non-conformist settlers に相当する内容の欠如は-2点。</li> <li>・ strongly motivated by a sense of freedom に相当する内容の欠如は-1点。</li> </ul>
② those who closely guarded their resources and distrusted strangers (自分の資産をしっかりと守り、よそ者を信用しない人々) (○) 財産を守り、他人を信じない人。	3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ those who closely guarded their resources に相当する内容の欠如は-2点。</li> <li>(×) guarded に「ガードする」は-1点。</li> <li>(×) closely (しっかりと) に「近くに」は-1点。</li> <li>・ distrusted strangers に相当する内容の欠如は-1点。</li> </ul>

<p>③ those who engaged in risky explorations to secure food and territory  (食料や縄張りを確保する [手に入れる] ために危険な探検に従事する人々)</p> <p>(○) 食料と土地のため、危険を冒す人。</p>	<p>3点</p>	<p>•those who engaged in <b>risky</b> explorations に相当する内容の欠如は<b>-1点</b>。  •to secure <b>food</b> and <b>territory</b> に相当する内容の欠如は<b>-2点</b>。  (×) food または territory の一方の誤りは<b>-1点</b>。</p>
<p>※趣旨が大きく違うものは必須項目が含まれていてもその区分は0点。  *同等のことを言っていれば表現は広く認める。  *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜<b>-2点</b>。  *その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜<b>-2点</b>。</p>		

【1】-Q4 (10点)

〈問題部分〉

Translate the underlined part (4) into Japanese.

(下線部(4)を日本語に訳しなさい)

〈解答例〉

経済的な豊かさや個人的な自由といった目標を追い求めながら人生を歩もうとする意欲が、最初に北アメリカの辺境に入植した多くの人々の原動力だった。

【下線部(4)】

(4) A willingness to make your way through life in pursuit of goals such as economic affluence and personal freedom drove many original North American frontier settlers.

●次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
A willingness (S) ... drove (V) ~ 意欲が～を駆り立てた [突き動かした]	3点	<ul style="list-style-type: none"> <li>SVの関係がわかっていないものは不可 (-3点)。</li> <li>SVはわかっているが, willingness / drove の訳に難がある場合は各-1点。</li> </ul>
to make your way through life 人生を歩む/人生を切り開く	1点	<ul style="list-style-type: none"> <li>to不定詞が willingness を修飾することが分かっていないものは不可。</li> <li>make one's way のニュアンスがまったくないもの(例「人生を通じて/人生において」のみ)は不可。</li> </ul>
in pursuit of ~ ～を追い求め (ながら)	1点	
goals 目標	1点	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゴール」は不可 (-1点)。</li> <li>「目的」は減点しない。</li> </ul>
such as ~ ～のような/～などの/～といった	1点	
economic affluence 経済的な豊かさ	1点	
(and) personal freedom 個人的な自由	1点	<ul style="list-style-type: none"> <li>「個人の自由」でよい。</li> <li>「人の自由」は不可 (-1点)。</li> </ul>
many original North American frontier settlers 最初に北アメリカの辺境に入植した多くの人々/多くの, 北米西部への最初の移住者	1点	<p>下の1つでも訳漏れがあれば不可 (-1点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>many</li> <li>original 「元々の」も認める。</li> <li>North America</li> <li>frontier 「辺境」のほか「フロンティア, 開拓地, 西部」も認める</li> <li>settlers 「移住者, 住んだ人」など。</li> </ul>
※同様のことを言っていれば表現は広く認める。		

【2】-Q1 (8点)

〈問題部分〉

Regarding the underlined part (1), explain specifically in Japanese what is meant by “your gut tells you otherwise.”

(下線部(1)について, “your gut tells you otherwise” が意味することを日本語で具体的に説明しなさい)

〈解答例1〉

面接での発言内容や経歴からは申し分のない求職者であっても, 自分の直感がそれを否定すること [自分の直感から何か違和感を覚えること]。

〈解答例2〉

仕事の応募者との面接で, 言葉や履歴書からは適任だとわかっても, 自分の勘がそれとは別のことを教える。

【下線部(1) を含む文】

Let's say you're interviewing a new applicant for a job and you feel something is off. You can't quite put your finger on it, but you're a bit uncomfortable with this person. She says all the right things, her resume is great, she'd be a perfect hire for this job — except (1) your gut tells you otherwise.

「たとえば, あなたが仕事の新規応募者と面接していて, なんだかしっくりこないと感じているとしよう。あなたはその原因を明確に指摘できないけれども, この人物に対してちょっとした違和感がある。彼女の話すことはまったく真っ当であり, 履歴書もすばらしく, 彼女はこの仕事にぴったりの採用社員となるだろう, (1) あなたの gut がそうではないと言っている以外は」

●次の①～④の項目に相当する内容に得点を配分。

区分		配点	項目
状況	ある仕事の応募者について, 面接での発言や経歴からは申し分ない [適任らしい, 完璧な] 人物だとわかる	4点	①「求職者との面談で」にあたる内容がなければ <b>-2点</b> 。 ②「その人の発言(言葉)や経歴(履歴書)は申し分ない」にあたる内容がなければ <b>-2点</b> 。
現象	自分の直感がその評価を否定する [直感的に気に入らないという印象を受ける]	4点	③ gut に対する「直感, 勘, 本能」などがなければ <b>-2点</b> 。 gut (英語のまま) や「ガッツ」は不可。 ④ tells you otherwise にあたる「それとは別のことを教える, その評価を否定する」などがなければ <b>-2点</b> 。

※趣旨が大きく違うものは必須項目が含まれていてもその区分は0点。

\*同等のことを言っていれば表現は広く認める。

\*必須項目以外のことが書かれていても, 間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜**-2点**。

\*その他, まとめ方の部分的な不備などは, 適宜**-2点**。

【2】-Q2 (8点)

〈問題部分〉

Regarding the underlined part (2), explain in Japanese what “This” refers to.  
(下線部(2)について, “This” が何を指しているか, 日本語で説明しなさい)

〈解答例〉

(ビジネスリーダーが) いつ直感に頼るべきで, いつ頼るべきでないのか知らずにいること。

【下線部(2)を含む文】

(2) This is the kind of challenge I encounter when I consult with companies on how to better handle workplace relationships.

「(2) これは, 職場の人間関係によりよく対処する方法に関して, 私が企業にコンサルティングを行うときに遭遇する類いの難題である」

【解答の根拠】

Yet research on decision-making shows that most business leaders don't know when to rely on their gut and when not to. While most studies have focused on executives and managers, research shows the same problem applies to doctors, therapists and other professionals.

「それにもかかわらず, 意思決定に関する研究が示すところでは, ほとんどのビジネスリーダーがいつ直感に頼るべきで, いつそうすべきでないか, わかっていない。ほとんどの研究は, 企業幹部や経営者に焦点を当てているが, 同じ問題が医者やセラピストや他の専門家にも当てはまることが調査により明らかになっている」

必須項目

(most business leaders) don't know when to rely on their gut and when not to に相当する内容が必須。

- ・「(ほとんどのビジネスリーダーが) いつ直感に頼るべきで, いつそうすべきでないか, わかっていない (ということ)」が言えていけばよい。

※全体としての趣旨が違うものは0点。

※ gut のとらえ方が間違っているものは-4点。

※ 「~すべきとき」「~すべきでないとき」の一方しか言及していない場合は-2点。

※ 「ビジネスリーダー」はなくてもよい。「リーダー」や「意思決定者」でも可。また, executives (企業幹部), managers (経営者), (doctors, therapists and) other professionals ((医者やセラピストなどの) 専門家) でも認める。大きく方向性が違うもの場合は-2点。

※趣旨が大きく違うものは必須項目が含まれていてもその区分は0点。

\*同等のことを言っていれば表現は広く認める。

\*必須項目以外のことが書かれていても, 間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜-2点。

\*その他, まとめ方の部分的な不備などは, 適宜-2点。



【2】－Q3. (8点満点)

〈問題部分〉

Regarding the underlined part (3), what are the differences in the effects of “the reactions of our gut” between our ancestral environment and modern society? Explain in Japanese.

( Maximum 60 characters including punctuation marks.) (下線部(3)について、祖先の環境と現代社会では、“the reactions of our gut” がもたらす結果にどのような違いがありますか。日本語で説明しなさい。(句読点を含めて 60 字以内とする)

〈解答例〉

祖先の環境では生存と繁栄に役立ったが、現代社会では意思決定において間違っただけの情報に注意を向けさせる恐れがある。(54 字)

【下線部(3)を含む文】

(3)The reactions of our gut are rooted in the more primitive, emotional and intuitive part of our brains that ensured survival in our ancestral environment. 「(3)人間の直感による反応は、脳内のより原始的、感情的、直観的な部分に根ざしており、それが祖先の置かれた環境において生存を確実なものとした」

【解答の根拠】

1. ensured survival in our ancestral environment 「祖先の置かれた環境において生存を確実なものとした」
2. In modern society, ... our gut is more likely to compel us to focus on the wrong information to make workplace and other decisions 「現代社会では、・・・職場その他において決断を下すのに、直観が間違っただけの情報に注意を向けさせる可能性が高い」

●次の①、②の項目に相当する内容に得点を配分。

	必須項目	配点	具体例
①	A 「祖先の置かれた環境では」 ⇒B 「生存を確実なものとした」	4 点	・ A を欠くもの、不適當なものは－2 点。 ・ B を欠くもの、全く不適當なものは－4 点。「生存を可能にした、生存に必要なだった」なども認める。「サバイバル」は－2 点。その他、部分的な間違いは適宜－2 点。
②	A 「現代社会では」 ⇒B 「(職場その他において) 決断を下す際に間違っただけの情報に注意を向けさせる (恐れがある)」	4 点	・ A を欠くもの、不適當なものは－2 点。 ・ B を欠くもの、全く不適當なものは－4 点。「決断を下す際に」にあたるものがないものは－2 点。その他、部分的な間違いは適宜－2 点。

※趣旨が違うものは、必須項目が含まれていてもその区分は 0 点。

※①②のつなげ方は、「①A では B だったが、(それに対し) ②A では B だ」のように対比しても、「①A では B だった。②A では B だ」のように単に並列してもよい。

\*同じことを言っていれば表現は広く認める。

\*必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜－2 点。

\*その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜－2 点。



[2] - Q5 (12点)

〈問題部分〉

Translate the underlined part (5) into Japanese.

(下線部(5)を日本語に訳しなさい)

〈解答例〉

自動的システムと志向的システムは、より複雑な過程を簡素化したものにすぎず、それらがどのように機能するのかについて科学界では論争があることを心に留めておこう。

【下線部(5)】

Keep in mind that the autopilot and intentional systems are only simplifications of more complex processes, and that there is debate about how they work in the scientific community.

●次の区分に分けて配点する。

区分		配点	具体事例
①	Keep in mind that ～ということを心に留めておきなさい	2点	・ keep in mind that は「～を覚えておく、留意する、心に銘記しておく」など可。
②	the autopilot and intentional systems 自動的システムと志向的システムは	2点	・ 単語レベルの間違いや訳抜けは各-1点。 ・ only の訳抜けは-1点。
	are only simplifications of more complex processes より複雑な過程を簡素化したものにすぎない	2点	
③	and that there is debate そして論争があるということ	2点	・ that 節が①と並列関係にあることをつかんでいないものは不可で、-2点。
④	about how they work それらがどのように機能するのかについて	2点	
⑤	in the scientific community 科学界では	2点	
※同様のことを言っていれば表現は広く認める。			

[3] -Q1 (10点)

〈問題部分〉

Based on the passage, describe in brief “This story of how brains evolved” in underlined part (1) in Japanese.

(本文に基づき、下線部(1)の『脳がどのように進化したかについてのこの話』を日本語で簡潔に説明しなさい)

〈解答例〉

最初の捕食者の出現以来、それらと被食者〔獲物〕は徐々により複雑な体を進化させていき、やがて一部の生物は複雑化した身体機能をつかさどる脳を進化させた。

【下線部(1)を含む文】

(1)This story of how brains evolved, while admittedly just a sketch, draws attention to a key insight about human beings that is too often overlooked.「(1)脳がどのように進化したかについてのこの話は、確かにほんの概略を述べたものにすぎないが、あまりに見過ごされがちな、人間に関する重要な洞察に注意を向けさせる」

【解答の根拠】

Five hundred million years ago, a tiny sea creature changed the course of history : It became the first predator. It somehow sensed the presence of another creature nearby, propelled or wiggled its way over, and deliberately ate it. This new activity of hunting started an evolutionary arms race. Over millions of years, both predators and prey evolved more complex bodies that could sense and move more effectively to catch or elude other creatures. Eventually, some creatures evolved a command center to run those complex bodies. We call it a brain.「今から5億年前、ある微小な海中生物が歴史の流れを変えた。それは最初の捕食者となったのだ。その生物は何らかの方法で近くにいた他の生き物の存在を感じ取り、身を押し出して、あるいはくねらせてその方へ進み、意図した通りにそれを食べた。狩りをするというこの新しい活動が、進化的軍拡競争の発端となった。何百万年にもわたって、捕食者と被食者の双方がより複雑な体を進化させ、他の生物を捕らえたり、それらから逃れたりするために、より効果的に感覚を働かせ、身動きすることができるようになった。やがて一部の生物は、そうした複雑な体を動かすための司令部を進化させた。私たちはそれを脳と呼んでいる」

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

	必須項目	配点	具体例
※	◆predator (捕食者), prey (被食者) の誤訳は全体で各 <b>-1点</b> 。 ・predator に「プレデター」は不可 (-1点)。「他の動物を食べる動物」のように説明しているものも可。 ・prey は「餌食, 獲物, 食べられる動物 [生物]」なども可。		
①	第1段階: 捕食者が出現した	2点	・「ある生物が初めて他の生物を捕らえて食べた」, 「狩りをする」というこの新しい活動が始まった」「食べる・食べられるの関係が発生した」などの趣旨があれば可。
②	第2段階: 捕食者と被食者の双方がより複雑な体を進化させた	4点	・「捕食者と被食者の双方」にあたるものがないもの, 単に「生物」などとしたものは <b>-1点</b> 。 ・「複雑な体を進化させた [他の生物を捕らえたり, 逃げたりするために, よりうまく感覚を働かせ, 動作することができるようになった]」にあたるものがないもの, 不適当なものは <b>-2点</b> 。
③	第3段階: 一部の生物は複雑な体を動かすため, 脳を進化させた	4点	・「複雑化した体を動かす [操る] ために」にあたるものがないもの, 不適当なものは <b>-2点</b> 。 ・「(一部の) 生物は (司令中枢としての) 脳を進化させた」にあたるものがないものは <b>-2点</b> 。
<p>※趣旨が違うものは, 必須項目が含まれていてもその区分は<b>0点</b>。            ※3つの段階のつなげ方は, 「まず最初に①, その後②, 最終的に③」など, 時系列に即していれば, 表現は広く認める。時系列が明らかに間違っている場合は, 1箇所につき<b>-2点</b>。            *各段階の内容が同じことを言っていれば表現は広く認める。            *必須項目以外のことが書かれていても, 間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜<b>-2点</b>。            *その他, まとめ方の部分的な不備などは, 適宜<b>-2点</b>。</p>			

[3] -Q2 (10点)

〈問題部分〉

Regarding the underlined part (2), give in Japanese an example of “your brain's activity” from the same paragraph, explaining how your brain works in the activity. (下線部(2)について、同段落から『あなたの脳の活動』の例を日本語で挙げ、その活動において脳がどのように働くのかを説明しなさい)

〈解答例〉

毎朝目を覚ますとき、脳は人が床を離れて、活動を開始するのに必要なエネルギーを予想し、次に血中にコルチゾールというホルモンを放出することで、(ブドウ糖という)即効性のあるエネルギー源を利用できるようにする。

【下線部(2)】

(2)Much of your brain's activity happens outside your awareness. 「あなたの脳の活動の多くは意識外で起きている」

【解答の根拠】

For example, each morning as you wake, your brain anticipates the energy you'll need to drag your sorry body out of bed and start your day. It then floods your bloodstream with a hormone called cortisol, which makes glucose available for quick energy. 「たとえば、毎朝目を覚ますと、脳はあなたが自分の衰れた体を寝床から引きずり出し、1日が始めるのに必要なエネルギー量を予測する。それから脳は血流をコルチゾールというホルモンで満たし、ブドウ糖を即効性エネルギー源として利用できるようにする」

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

	必須項目	配点	具体例
①	状況⇒(毎)朝、目を覚ました時	2点	・この部分を欠くもの、不適当なものは <b>-2点</b> 。
②	脳の働き1⇒床を離れて、1日が始めるのに必要なエネルギー量を予測する	4点	・「床を離れ/起き上がり」、「1日が始める」にあたるものがないもの、不適当なものは、それぞれ <b>-1点</b> 。 ・「必要なエネルギー量を予測する」にあたるものがないもの、不適当なものは <b>-2点</b> 。
③	脳の働き2⇒血流をコルチゾールというホルモンで満たし、それがブドウ糖を即効性エネルギー源として利用できるようにする	4点	・「血流をコルチゾールというホルモンで満たす[血中にある種のホルモンを放出する]」にあたるものがないもの、不適当なものは <b>-2点</b> 。コルチゾールは単に「ある(種)のホルモン」などでもよいが、「ホルモン」のみは <b>-1点</b> 。 ・「ブドウ糖をすばやくエネルギー源として利用できるようにする」にあたるものがないもの、不適当なものは <b>-2点</b> 。「ブドウ糖」は「グルコース」でも可。また、全体を「すぐにエネルギーを得られるようにする」などと簡略化した表現も認める。
<p>※趣旨が違うものは、必須項目が含まれていてもその区分は0点。                  ※3つの項目のつなげ方は、本文に沿って、特に不自然でなければ広く認める。                  *各項目の内容が同じことを言っていれば表現は広く認める。                  *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜<b>-2点</b>。                  *その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜<b>-2点</b>。</p>			

[3] - Q3 (8点)

〈問題部分〉

Based on the passage, give a definition of the term “allostasis” in underlined part (3) in Japanese. (本文に基づき、下線部(3)の『アロスタシス』という用語の定義を日本語で述べなさい)

〈解答例1〉

身体的要求が生じる前に、それに応じられるよう自動的 [無意識] に予測して、準備を整えること。

〈解答例2〉

身体的要求を感じる前に、体が求めるものに応じられるよう、無意識のうちに予測して、準備すること。

【下線部(3)を含む文】

The scientific name for body budgeting is (3)allostasis. 「体の予算編成を表す科学的な名称はアロスタシスである」

【解答の根拠】

It means automatically predicting and preparing to meet the body's needs before they arise. 「それは、身体的要求が生じる前に、それに応じられるよう自動的 [無意識] に予測して準備を整えることを意味する」

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

	必須項目	配点	具体例
①	身体的要求に応じられるように	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この部分を欠くもの、不適當なものは<b>-2点</b>。</li> <li>・「身体的要求」は「体が求めるもの、身体的必要(性)」なども認める。</li> </ul>
②	自動的 [無意識] に予測して準備すること	4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自動的 [無意識] に」「予測すること」「準備すること」のどれを欠いても、あるいは誤っても、それぞれ<b>-2点</b>。(2つ欠いていればこの区分<b>0点</b>。)</li> </ul>
③	それらが生じる前に	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「それら (=身体的要求)」の内容を誤ってとらえたものは<b>-2点</b>。</li> <li>・「身体的要求を感じる前に」なども可。</li> </ul>
<p>※趣旨が違うものは、必須項目が含まれていてもその区分は<b>0点</b>。                      *各項目の内容も同じことを言っていれば表現は広く認める。                      *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜<b>-2点</b>。                      *その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜<b>-2点</b>。</p>			

[3] - Q4 (8点)

〈問題部分〉

Regarding the underlined part (4), explain clearly in Japanese why the statement is true. (下線部(4)について、なぜそのように言えるのかを日本語でわかりやすく説明しなさい)

〈解答例〉

あらゆる精神的活動は、体の必要性を予測し、そのための予算を組むという脳の計算に起因するため。

【下線部(4)を含む文】

But (4) in body-budgeting terms, separating the mental from the physical is not meaningful. 「しかし、体の予算編成という観点から言えば、精神的なものと同体的なものを分けることは意味がない」

【解答の根拠】

Every thought you have and every feeling of happiness or anger or anxiety you experience is part of your brain's calculations as it anticipates and budgets your body's needs. In short, every mental experience has roots in the physical budgeting of your body. 「あなたが抱くあらゆる考えや、あなたが経験する幸福や怒り、不安といったあらゆる感情は、あなたの体の必要性を予測し、その予算を組む際の脳の計算の一部なのだ。要するに、精神的な経験はすべて、体の肉体的な予算編成に根ざしている」

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

必須項目		配点	具体例
①	あらゆる精神的活動は	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この部分を欠くもの、不適當なものは<b>-2点</b>。</li> <li>・上記の該当箇所を逐語訳して「(あなたが抱く) あらゆる考えや (あなたが経験する幸福や怒り、不安といった) あらゆる感情は」などとしてもよい。</li> <li>・every (あらゆる、すべて、各々など) の意味がまったくないものは<b>-1点</b>。</li> </ul>
②	脳の計算に起因するため	4点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この部分を欠くもの、不適當なものは<b>-4点</b>。</li> <li>・上記の該当箇所を逐語訳して「脳の計算の一部だから」としてもよい。</li> <li>・文末は「～だから、～のため、～なので」など、理由説明にふさわしい形でないものは<b>-2点</b>。</li> </ul>
③	体の必要性を予測し、そのための予算を組む (際の)	2点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この部分を欠くもの、不適當なものは<b>-2点</b>。</li> <li>・「体の必要性を予測する」と「そのための予算を組む」のどちらかを欠いたり、誤ったものは<b>-1点</b>。</li> <li>・「予算を組む」は「予算編成をする、予算を作成する、予算を見積もる、経費を考える」なども可。また「必要なこと [もの] を考える」も認める。</li> </ul>
<p>※趣旨が違うものは、必須項目が含まれていてもその区分は<b>0点</b>。                  *各項目の内容も同じことを言っていれば表現は広く認める。                  *必須項目以外のことが書かれていても、間違いでなければ不問。明らかな間違いは適宜<b>-2点</b>。                  *その他、まとめ方の部分的な不備などは、適宜<b>-2点</b>。</p>			

[4] (50 点満点)

1. 語数・段落数

- 1) 語数 (設問指示: 100 語程度)  
100 語から大きく離れているものは 0 点。
- 2) 段落数 (設問指示: 1 段落で書け)  
複数のパラグラフに分けて書いているものは -10 点。

2. 形式

右スペースを多く残して不自然な改行をしているものは -5 点。

3. 英語の正しさ

軽微なスペルミスは 1 点減点。  
冠詞・単複・動詞の語形の誤り、語句の誤りなどは 1 箇所につき 2 点減点。

2. 内容面

- 1) 以下の設問指示を無視しているものは、英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる。
  - ① Write your opinion in English on this subject  
(「情報通信技術の教育への活用」という問題に対する自分の意見を書け)
    - ・全く無関係な事柄について書いているもの (-30 点)
    - ・意見の論点が「情報通信技術の教育への活用という問題」とはずれているもの (-5 点)
  - ② including specific reasons to support your argument.  
(主張を裏づける具体的な理由を盛り込む)
    - ・理由・説明などのサポート文が一切含まれないものは -30 点。
- 2) 構成 (この項目は、明らかにおかしい極端なものについてのみ適用)
  - ・文章構成の不適切なもの (-20 点)  
※先に自分の意見 (テーマ) をはっきりさせてから論じていないもの。  
通常の英語の論述展開 (意見→根拠) から大きく逸脱しているもの。
- 3) 文法・語法の誤りとは別に、文・節レベルで内容的に何を言っているのか伝わらない箇所／論理不整合がある場合は -4 点。



[5] (30 点満点)

1. 語数

指定語数 (指示 : 70 語程度)

70 語から大きく離れているものは 0 点。

2. 形式

右スペースを多く残して不自然な改行をしているものは -5 点。

3. 英語の正しさ

軽微なスペルミスは 1 点減点。

冠詞・単複・動詞の語形の誤り, 語句の誤りなどは 1 箇所につき 2 点減点。

2. 内容面

1) 以下の設問指示を無視しているものは, 英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる。

① the three countries (3 力国) : 表の縦の項目

- ・ 1 つの国にしか言及していないもの (-30 点)
- ・ 2 つの国にしか言及していないもの (-20 点)

② the situation (状況) : 表の横の項目

- ・ Number of immigrants (移民数) に関する言及が全くないもの (-15 点)
- ・ Ratio of immigrants to population (移民の人口比) に関する言及が全くないもの (-15 点)

③ compare ~ and explain the differences.

(~の移民の状況を比較し, 違いを説明せよ)

- ・ 他国との比較または違いの要素が全くなく, ある国について個別に述べているだけのものは, その国については -10 点。

2) 表との整合性 (表の内容と明らかな齟齬がある箇所)

- ・ 小さな数値の誤りなどは 1 箇所につき -2 点。
- ・ 多寡が正反対になっているなど, 重大な誤りは 1 箇所につき -4 点。

3) 文法・語法の誤りとは別に, 文・節レベルで内容的に何を言っているのか伝わらない箇所 / 論理不整合がある場合は -4 点。